

高倉通信

平川市
東奥日報
尾上販売店
第120号

東奥日報
朝日 毎日本経済
読売 日本経済
スポーツ 新聞各種

農家蔵

農家庭園めぐり
NPO法人尾上蔵保存
利活用促進会（山口憲一
理事長）は、5月28・29
日、金屋地区で「農家蔵・
農家庭園めぐり」を行い
ました。

国の登録有形文化財に
指定されている蔵や庭園
13カ所を、一時間程でめ
ぐるこのイベントには、



弘前からの団体も訪れていました

観光客が多数訪れ、弘大
生や柏農高校生のガイド
と一緒に、個人宅の立派
な庭園を散策しました。

まち歩き

田植え期の変遷

藩政時代、津軽藩は10
万石。「石高」とは収穫
できる米の量を示す単位
で、成人男性が1年に食
べる米の量が1石とされ、
重さだと約150kg。

好天に恵まれ、今年も
順調に田植えが終わりま
したが、明治中期から大
正末期までは、種まきも
遅く、田植え期も6月の
末から7月初めに行われ
ていました。田植えも、

「ユイ」と称して馬のあ
る家に4・5軒ずつ寄り
合って共同で行い、植え
方も「回り植え」といっ
て、畦に沿って後ろ向き

に歩き、回りながら植え
ていました。

このような乱雑植えか
ら、昭和初期には型枠に
よる正条植え、健苗早植
えの普及もあり6月1日
頃。最近では、生産組合
組織となり5月10日頃
は機械植えが始まってい
ます。



順調に生育しています

ひらかわ史跡 文化財めぐり

20歳以上の平川市民や
平川市に勤務している方



猿賀山長命院神宮寺

を対象に、一般教養や専
門知識を学ぶ講座を開催
している「平成の寺子屋」。
6月11日は、「ひらかわ
史跡文化財めぐり」が行
われ30名のみなさんが参
加しました。

平川市文化財保護審議
会の工藤哲彦さんを講師
に、平賀地区の泉光院跡
や新屋八幡宮、尾上地区
の清藤氏書院庭園や、今
回特別に見学を許された
猿賀神社本殿など、かか
わった人物や背景を詳し
く学ぶことができ、参加
したみなさんは質問をし
ながら、歴史に思いを巡
らせていました。

星空の観測会

第六弾

6月15日から21日まで
行われた、星空観測会。
今回は月のクレーターを
観測しようというテーマ
で行いましたが、梅雨に
入り天候に恵まれず、そ
れでも雲の切れ間から現
れた月を観測することが
できました。

今後、望遠鏡での観
測希望の方は、いつでも
ご連絡下さい。お待ちし
ています。



望遠鏡で見るのは初体験です

